

地区大会 今後への提言

——年に1度の機会をみんなで楽しく

「さまざまな工夫をこらして、プログラムはよくできていると思うのに、大会に出席しても、やはり、途中で帰ってしまう会員も多い。大変残念なことです。とは申せ、今年度成功をおさめている地区も少なくありません。みんな楽しく、という一つの理想が生かされつつある証左です」(梶谷真一)

■出席者

第 250 地区 七戸 幸夫 ガバナー (旭川北)

第 252 地区 狩野 壽一 ガバナー (古川)

第 254 地区 浅水 逸郎 ガバナー (八戸)

第 278 地区 古舘 誠 ガバナー (鎌倉大船)

第 279 地区 平塚新兵衛 ガバナー (佐原)

司会『友』顧問 梶谷 真一 バストガバナー (小樽南)

(順不同 敬称略)

年に1度、地区全員の親睦の場にするためにはどうしたらよいか

梶谷 アーチャー前会長は、年1回の親睦の機会ですから、地区大会は一人でも多くの会員が出席し見知らぬ会員との友情を深めロータリーを楽しんでいただきたいといっておられました。

きょうは、地区大会あれこれを、苦勞談経験談をまじえ、いうならば「地区大会いかにある

べきか」について、お話をいただきたいと存じます。

七戸 毎年のことながら、大会2日間のうち2日目になると、非常に残念なことですが、もう空席が目立つようになりますね。そこで、今回は2日目に目玉をもってきて、1日目と連動するようなプログラムづくりに工夫をこらしました。

たとえば環境保全の映画と講演、これは高橋延清東大名誉教授にお願いしました。それに続く「国際親善の集い」と銘打って、GSE・姉妹地区第372地区のガバナーや、米山奨学生ら数十人に登場してもらい「世界は一つ」というテーマで行いました。それは第1日のシンポジウムや向笠元RI会長の特別講演に呼応するものでした。

梶谷 効果のほどは。

七戸 やはり、どうしても時間の関係で帰らなければならない人は出ましたが、ある程度は成功したかなと思っています。

狩野 私たちの地区では、これから開催するのですが、土・日に重点を置き、まず土曜日の本会議は会長、幹事やプログラムによる出席義務者を決め、シンポジウムを開催し、2日目の日曜日の本会議終了後全員参加しての懇親会を一堂に会して行う計画です。

梶谷 土・日でおやりになる。

狩野 その前日の金曜日は記念ゴルフです。土曜閉庁や週休2日制が増えたにしても、地域的にまだそれほど普及していない。土・日です



と安心して開催することができます。

浅水 私たちの254地区の場合、2日目でも参加者はほとんど減りませんでした。

梶谷 それはすばらしい。なにか理由があるのですか。

浅水 そうですね。1つのみの原因ではないと思いますが「国際奉仕の華」というシンポジウムと記念講演が良かったようです。

梶谷 2日目ですか。

浅水 いえ、これは1日目でしたが非常に引きつけるものがあった。それから上智大学の安井光雄教授の奉仕の話。これは、あとでビデオかテープをくださいと電話がきた。これは当地区大会で初めて。2日目の地球の緑を守ろう、という島根大学の森蔵夫教授の話も、非常に訴えるものがありましたが、初日の印象が大切と思いました。

成功した大会2日目も参加者が減らないプログラムづくり

古舘 うちが9月の土・日の2日間開催しました。比較的はやい時期だったのと、当地区より初めて蔵並理事が出られたこともあり、地区外より多数の来賓の方々にご出席いただきました。それに併せて交通の便がよかったことも参

加者が多かった一因であろうと思います。

当地区も、2日目に帰ってしまうという人はいなかった。ほとんどが最後の懇親会までいました。1日目に2時間半のシンポジウムをもってきましたので出席者数の点で、少し心配しましたが、杞憂で大成功でした。2日目は石原慎太郎氏の講演とアトラクションをやりましたがこの日の出席者も多く、会場はあふれんばかりで好評をいただいたものです。

狩野 全部の参加者数はどのくらい？

古舘 実際の出席者数は把握できないですが、登録者数は3,505人を数え98.35%でした。

狩野 すごいですね。

古舘 会場は横浜駅のそごうデパートの中にある新都市ホール。ホールの回りのロビーもたっぷりスペースが取ってあるので、会場に入れない人は、設置したテレビを見てもらったりと楽しいようなど迷惑をおかけしたものです。

平塚 2日以上、9時間以上という規定があるから、どうしてもマンネリ化してしまうんですね。その配分にどうしても苦勞することになる。私としては『手続要覧』にしたがって2日間平等にという希望はありますが、土・日のうち1日目を少なく、2日目に多くというプログラムになりました。この点、他地区と多少異なると思います。



古館 誠君



平塚新兵衛君



榎谷 真一君

榎谷 その理由を。

平塚 初日の土曜日はだいたい、会長・幹事会ということが、もう共通認識のようになり、第1日目は義務出席だと。一般会員は最終の1日だけ出ればいい、と考える習慣がついていました。

それを変えようというので、いろいろ話し合い結局、第1日の午前中は本会議、お昼の時間帯に会長・幹事会、午後からはシンポジウム。ちょうど大雨にたたられましたが、参加者は約1,000人。

榎谷 足の便がよろしかったから。

平塚 そうなんです。2日目は講演会やアトラクションをもってきた。この日は天気になり約2,000人。登録は2,400人。ですから、どこの地区さんも、後半がよくないという傾向のようですが、最後までみんな残ってくれた。そんなわけで、うちは逆の結果になっています。

また当地区は、毎月11月開催ですが「即位の礼」を考慮して10月にしました。

ガバナーの地元でなくても開催できました

榎谷 七戸さんの地区は、ホームクラブのある旭川ではなく、北見で開きましたが、そのことについて。

七戸 このところ、旭川と帯広で交互で開催し、ガバナーの所在地で開くのが習わしで、今回は旭川で開催する番でしたが、地区全体を眺めてみると、北見でしばらくやっていない。開催地は、できるだけ同じような地域でないほう

がいい。それで、バスターガバナーにも賛同いただき、ホストをお願いする北見クラブも、非常に盛りあがって頑張るといってくれましたので地区全体のことを考えて北見で開くことにしたわけです。

榎谷 地元ではないですから、それだけ苦労もあったでしょう。

七戸 離れているので、連絡をどうするか心配でしたが、私が2カ月に1度は仕事で北見に行きましたし、ホスト側からも連絡を密にしてくれました。私はほんの骨組みだけで、北見クラブを信頼して、そのほかの一切はお任せした。その結果、大変によくやってくださいます。うれしく思いました。

榎谷 ほかの皆さんの地区は、ガバナーの地元でおやりになった。

古館 そうです。ですが、私の地区は同じ神奈川県といっても、会場とした横浜の新都市ホールは地区外にあります。でもくっついているので、地元開催と同じようなものでした。

七戸 繰り返すようですが、ホストや会場が離れていると、気になるものですが、私の場合すべてお任せしたのがよかったと思っています。

平塚 私どもは千葉県で、やはりガバナーの地元でおやりなさい、と。『手続要覧』でも、いちばん集まりやすい場所で、となっている。

そうすると、ガバナーの引き受け手がいなくなってしまう。適当な場所がなくて。

榎谷 そうなりますね。

平塚 それで困ってしまいます。今回は、佐原市で開きましたが、800人しか会場に入れない。それでテントで第2会場をつくって、ビデ



七戸 幸夫君



浅水 逸郎君



狩野 壽一君

オを据えて、なんとか格好をつけた形でした。これから先、開催場所については問題になってくると思います。

榎谷 晩さん会はどうされましたか。

平塚 初日の晩さん会は市内のホテルでやりました。2日目の懇親会は市の文化会館ですから飲食ができないので、テントの中でやりました。

古館 相当大きなテントならいいですが、雨が降ったら大変ですよ。

七戸 私の地区は大都会とちがいで、なかなか大人数を収容する施設がない。体育館を借りることも、ちょうど「体育の日」の前だったのでロータリークラブとして、はばかる気持ちがあって使えない。それで、北見東クラブ会員に北海学園大学の桃野学長がおられ、大学の体育館を懇親会場にお借りした。大会会場の北見市民会館からバスで約15分かけて移動し、その点大変でしたが、地元の方々は非常によくやってくれました。

小さなクラブからもガバナーが出るようになってほしい

榎谷 平塚さんのいわれるように、地元それだけの人数を収容する施設がないから、ガバナーも引き受けられない。となったら問題です。ガバナー出身以外の土地のクラブでも、大会開催を受け持つようにしなければ。

浅水 地区分割が進むと、その問題が出てきますね。私の町は小さいから、ガバナーも引き受けられない、これではいけないと思う。ガバ

ナーにふさわしい方がいれば、ホームクラブやその町の大小にかかわらず、お世話いただくことができるようにしないと。

狩野 岩手県、宮城県が私たちの地区ですがたとえば、大会を大きな町で開催しても、友情を深める懇親の場は、どうしても別れ別れになってしまう。年に1度のことでですから、一堂に会した懇親会にしたい、それでいつも苦労することになります。

でもやはり、ガバナーが出た所で、地区大会をやりたい。これも本音だと思います。

ご婦人の協力で地区大会も活性化が期待される時代になるか

榎谷 これからは、自由に入会できるようになったご婦人方との接点をどう持っていか、それも一つのポイントになりましょう。地区大会でも、ご婦人の積極的な協力によっては、より盛り上がる場合も多いと思います。

七戸 今回の地区大会では、それほど反映されませんでした。地区内では婦人の部会をつくる動きも出てきています。今後、おっしゃるような方向になっていくでしょう。

狩野 地区夫人のための委員会では、地区大会の前に婦人だけのミニ地区大会を計画しています。一方、奥さんにもロータリーを知ってもらうための方策を考えています。その一つは、奥さんに週報などのファイル係になっていただくこと。そうすれば、自然とロータリーの記事を目にして、理解してもらえるようになる。

また、岩手、宮城それぞれ2クラブに、いま

女性会員がおり、活性化しています。ですがまだ抵抗感を持つクラブが多い。まずは、奥さんのロータリーに対する理解を深めることですね。

七戸 16年前にGSEのリーダーでまいりましたオーストラリアでは、シドニーから1,000キロも離れた小さな町で地区大会をやっていた。会場は大学の講堂を借りて、参加者はロータリーの家に泊まる。ほんとうに家族ぐるみで、子供さんまで連れて大会に参加している。その辺をこれからは、私たちも見習っていく点がありましょう。

平塚 今回はプログラムには、特別の配慮をしませんでしたが、婦人会員や家族で参加する場合のことを、もっと考えていかないと。今回でも「これなら、女房を連れて来るんだった」という声がずいぶん聞かれました。

靱谷 私がガバナーノミニで国際協議会に出席したとき、アーチャー会長が「あなた方は奥さんの協力なくしてよい仕事はできません」という言葉を思い出しました。

浅水 それから、エキスカッションをいかに組み込むかという問題もある。その時間になるとごそつといなくなってしまって、本会議を食ってしまう場合がある。ある大会に行ったら、シンポジストが「私の時間になったら、みんななくなってしまった」となげいておられた。

古舘 ですから、エキスカッションはプログラムの中に入れたいほうがいい。何かの時間に行っていたらどうか。休憩時間を利用してもらうため、美術館の券を準備しても、あまり利用者はいません。やはり、地区大会自体の催し物のほうがいいですから。

靱谷 催し物や参加者の関心を集めるための企画があれば、それでよろしいのでしょう。

七戸 それから、今回の大会では、会場に環境保全を重点に、各クラブの奉仕活動を紹介する展示コーナーを設け見てもらった。ふだん、自分のクラブの活動でも、広く知ってもらふ機会が少ないですから。どこでもやっておられるでしょうが、会報の交換なども好評でした。

表彰を受ける立場も考え セレモニーのあり方に工夫を

靱谷 セレモニーについてご意見を。

平塚 第1日と第2日と来賓紹介などのセレモニーをやるのはたしかに無駄ですね。

浅水 あれは第1日のみにすべきです。

古舘 私は、2回やっておられるのは見たことではないのですが。

七戸 表彰や感謝状授与とか、セレモニーはだらだらとなりがちなので、私どもでは、きわめて簡略にやるようにしたのですが、あとで、もっと礼儀正しく丁寧にやるべきだ、という声も聞かれました。

浅水 私も時間を短くと考えてやったものですから、高齢者がせっかく出席しているのに、代表だけ壇上に上げ、お名前だけを読みあげるだけでは失礼だというご批判を受けました。

古舘 うちでも、当初そういう考え方で進めましたが、ことしも壇上に上げてもらえますかという声があったので、きゅうきよ、従来どおり、表彰者は壇上に上がっていただくことにした。

靱谷 やはり、表彰を受けられる身になってみれば、そうあるべきだというお気持ちはわかります。ただ、だらだらしたセレモニーは大会の雰囲気をごわすことになり、ここにも工夫が必要ですね。

さて、皆さんのお話を伺って、大変うれしく心づよく思いました。従来、地区大会はいつも最終日の参加者が減ってしまうことが、悩みの種でしたが、それぞれアイデアをこらし、出席者を減らすことなく、理想的な姿に持っていかれる努力をされていることに、心から敬意を表します。

きょうは、地区大会のあれこれを感じるままに、よもやま話風に話していただきました。

今後の任期後半に向けての、ますますのご健勝をお祈り致します。ありがとうございました。